生禪法正解

特69
69

維摩詰經

正解

全

序言

一坐禪法もと深奥玄妙且つ一言一句概ね皆佛典佛語を用ひたれば漢文を能くする者と雖とも容易に之を解すへからす況んや二つなのら之に熟せさる初學に於ておや本書い修禪に關する多くの諸典籍を渉獵し其華を摘み其粹を撫り平易の文字を以て之を譯解し專ら初學の講習に資せんとせし者なり

一本書附するに原田玄龍師著耳根圓通論

を以てせり本論説く所創説にあらざるも今人之を知る者稀にして修禪に頗る有益の書なり初學之によりて學へは其進歩亦大に速かなるを覺んか

一本社先きに發刊せし膽力養成法を購讀せられし諸氏は本書をあはせ讀むへし本書い是れ膽力養成と大に關係あれはなり

一古來より坐禪い獨り佛家の業となして俗間之をあせし人少なし坐禪元と佛家の專有物にあらさして其功果無量宗俗共に各其益あり故に本書編纂の主旨い自今俗間をして亦其功果を分有せしめんと欲せしのみ

編者誌

目次

坐禪法正解

第一　坐禪ハ何の爲めにするか　一
第二　坐禪の功果　二
第三　坐禪前の用心　三
第四　坐禪時の用心　五
第五　坐禪の場所　六
第六　坐禪の方法　七
第七　調息法　七
第八　雜則　八
第九　結論

耳根圓通論

第一　實驗確證の始末　十一
第二　觀音入流の理由　十三
第三　定力を用ゆるの軌儀　十六
第四　結論　十九

目次終

坐禪法正解

半禪庵主編纂

第一　坐禪ハ何の爲めにするか

坐禪を為して得る所の功果ハ廣大無量なるも之を要するに迷悟(信心銘曰く迷ハ寂乱を生し悟ハ好惡なし)凡聖(地獄餓鬼畜生修羅人間天上を云ふ凡と云ひ聲聞緣覺菩薩佛を四聖と云ふ)を超脫ゑて眞理を發見するにあり眞理を發見する即ち是れ大悟にして自然菩提(即ち道なりの修證)を究盡し身心安樂の法亦是れより好きハなし實に坐禪ハ自然に身心脫落して五欲を離れ五蓋を除き豁然として徹證し本來の眞面目を現前し心原を悟りて寶藏を開くの手段なり

第二　坐禪の功果

故ふ參禪をなせゝ自ら諸緣を放捨し萬事を休息ゑ善惡を思ゝす是非に管するなく心意識の運轉を停め念想觀の測量を止む故に又自ら心地を開明し本分に安住せしむ即ち妄息めゝ寂生し寂生すれゝ智現し智現すれゝ眞見ゝるを云ふなり之を本來の面目を露はし又本地の風光を現すとも云ふ坐禪本と斯の如き者なる故に之を能くすれゝ一切の妄念を斷絶し一實の眞心を現成し心神玲瓏明白自照靈然思量せすして一切に通する底の大識量を生し死をも懼れさる底の大膽力を有する人となるを得へきなり是れ實に坐禪の功果にして他法の以て之に比すへき者なく誠に是れ佛道の正門なり

第三坐禪前の用心

坐禪ゝ實に衆生をして佛の知見に開示悟入せしむるの法にして佛道の正門なり故に之をなすにゝ其用心尤も大切にして前にも述へし如く先つ妄心を除き善惡の思を休め且つ一切の緣務を放捨するの工夫是れ第一の用心なり然らゝ如何して之を除休放捨すへきやと云ふに修禪の人ゝ常ゝ苟且にも歌舞妓樂に近くへからす喧譁議論をなすへからゝ技藝に誇り才名を衒ふへからす美衣美食を貪るへからす等總て心神を汚染ゑ攪動し參禪の障害となるへゑと思ふ者ゝ總て之を禁すへゑ是れ實に淨心の方法にして調心の至要なり

第四坐禪時の用心

坐禪に臨む時衣服ゝ新しきをゝ要せされとも洗濯して淨潔なる者を用ゆへゑ是れ心身の爽然を覺ゆるのみならす垢膩を去り發病の氣支ひなけれゝなり又食物を程好くして必す飽食なとをして打坐すへからす而して又坐禪に三不足と云ふ事を嫌ふ即ち衣足らす食足らす眠足らす是れなり此の三不足ゝ修禪退惰の因緣なれゝなり

以上は是れ實に調身の要術にして修禪の要規なり

又坐禪の時は牆壁禪椅及び屏障等に倚るへからす又烈風の處高顯の處等に坐すへからす是れ思念放散し諸根動き易く且つ疾病の生する憂へあれはなり須く正身端坐務て思慮靜沈なるを要すへし坐禪の時身或は熱するか如く寒するか如く滑なるか如く堅きか如く柔なるか如く重きか如く輕きか如く驚覺するか如きあるは是れ皆息の調はさる爲めなり之を調んと欲せは暫く口を開張して長息なれは長に任せ短息なれは短に任せ漸々に之を調ふへし心若し沈むか如く浮ふか如く朦なるか如く利なるか如く或は恍惚として佛身を見菩薩を見或は知見を起し經論に通利する等の如きある曾是れ觀念氣息不調の病なり若し此病ある時は心を両趺の上に安し心若し昏沈する時は心を髮染眉間に安し心若し散乱する時は心を鼻端

丹田(丹心とは臍下一寸五分を云ふ)に安すへし

第五坐禪の場所

坐禪は行住坐臥何れにても之を行ふ可らさるなき事なきも然れとも自ら淨念に障害ありと思ふ所又思ふ時は決して打坐すへからす而して坐禪に何人にも好き所は城市の喧聲の達せさる寺院或は山中巖窟又或は溪邊樹下等は是れ即ち澄心淨念の處にして屈竟の場所なり然れとも事務に繁劇なる人あとは朝起飯前或は一日の事務を終り夜に入り寢に就く前一二時間つゝ之を靜閑の淨室に行ふへし

又坐禪室には(家屋中坐禪室と定むる場所あれは)香を焚き花を飾るおと尤も好し又佛菩薩及羅漢の像なとを安置するは頗る可なり是れ自然敬心整肅煩惱を斷ち妄念を捨るに宜しけれはなり

第六坐禪の方法

是れより禪愈〻坐禪の方法を説くへし先つ坐禪室にて坐禪せんと欲せゝ極て靜閑の處を撰び能く洒掃して厚く茵褥を敷くへゝ(厚く茵褥を敷くゝ身体の坐屈を防く爲めなり)而して結跏趺坐し或ゝ半跏趺坐す結跏趺坐ゝ先つ右足を以て左髀(股なり)の上に置き左足を右髀の上に安ゝ半跏趺坐ゝ惟左足を以て右足を壓し寛く衣物を繫て齊整おちゝむへし次きに右手を左足の上に安ゝ左掌を右掌の上に安ゝ両手の大指相挂へ又拄指の對頭臍に對して安すへし而して正身端坐左に側ち右に傾き前に躬り後に仰く樣の事をなさゝ耳と肩と鼻と臍と必す共に相對し舌ゝ上腭を拄へ息ゝ鼻より通し唇齒相著て眼ゝ正しく開き張らす細そめす即ち半眼に開くへし斯くの如く調身已に終れゝ欠氣安息所謂口を開て氣を吐く一両度ゝ爲ゝ

又次きに身体を搖振し坐定して兀々端坐そへし是ゝ於て箇の不思量底を思量せよ如何か思量せん曰く非思量(經曰無爲ゝ非思量の境界非思量の境界ゝ是れ佛の境界云々)是れ即ち坐禪の要術なり

第七調息法

坐禪をなして或ゝ安念涌き或ゝ昏眠生し又或ゝ心志散乱するとする時ゝ能く心を鼻端丹田に安ゝて息の出入を數ふへし之を調息の法と云ふ其數息の仕方ゝ息の出入を合して一息となし一より十に至り終りて復た始め此の如く十に至りて又一より始め逐次何回も此の如くあすへし此法を熟すれゝ自然煩惱を破斷し散心歇み念想觀を休息ゝて坐禪の全能を全ふするの境に至り得へし坐禪に熟せさる人ゝ先つ此法より入るへゝ

第八雜則

坐禪中昏睡生すれゝ身を搖し目を張り或ゝ目を濯ひ頂を冷ゑ猶醒めざる時ゝ順行一百歩に及ゝゝ昏睡必す醒ん又定より起んとすれゝ(坐禪止て起んとする事)先つ両手を両膝の上に仰安ゑ身を搖す事七八度口を開き氣を吐き(入定の時ゝ氣を吐て後身を搖す出定之に反す是れ出入の別)輕々に坐を起ち徐々行歩順轉順行すゝゑ決して卒暴ある可らそ

第九 結論

坐禪ゝ即ち佛性海に入りて諸佛の体を摽し本有の妙(本來具有の)淨明の心(汚染せす一切を照破するの)頓に現前し(初て發露す故に現前と云ふ)本來一段の光明終に諸境を圓照ゑ諸佛と同体の智慧德相を得せしむるの法にして妄想悉く盡き大夢從て醒む此境之を大悟大徹と云ふ實に是れ坐禪修案到達の面目にして之を禪家にてゝ打成一片又大死底の人或ゝ普賢の境界なと云ふ坐禪元と此の如き者なる故に之をなせし人にゝ古來多くの大政治家大豪傑大功業家等の大人物大膽力家を出せり是れ予の不敏を省みと今や尤も我國に必用あるを察し之を諸君に紹介する以所あり

坐禪法正解終

附錄

左の原田玄龍師著耳根圓通論其所說頗る奇警にして佛家にも未た知らざる人多く且つ頗る有益の書おれい茲に掲載する事とせり此法に因て參禪の道を求められない亦大に益する所あらんか

耳根圓通論

曹洞沙門　原田玄龍著

觀音耳根圓通の法い予の實驗確證する者にして楞嚴經中微細に之を說けり予い此妙法により菩提を顯發するを以て聊か其軌儀を明ゐせん爲め便宜上本論を四章に分つて之を述ん

第一章　實驗確證の始末

予幼より出家し悟道の事に付頗る熱心し諸の智識に參し坐禪公案に餘念おかりを然るゐ原坦山師い頗る博學にして確說を主張とる

と聞き參禪を求めたり時偶〻慶應三年九月頃おりき師の所說ハ全く他の智識と異なり皆實驗に出るを以て其敎に從ひ修行したりしか明治二年六月七日師の首楞嚴經講義を聽き觀音耳根圓通の卷(初於聞中入流亡所所入既寂動靜二相了然不生)の句に及ひ深く心念を感したり即ち從前の工夫を放下ゐ定力を耳根に用ゆる殆ど一月餘其初め堅確にして定力及ひ難かりしか漸くにして耳根に定力の入るを感し腦髓に圓通し前腦より後腦に陀那(楞嚴經に陀那微細の識習氣暴流をあす是なり)の流注を反へし腦中空界の如く歡喜踊躍し睡らさると七日餘後定力を胸腹に用ゆるに日ならすして悉く解脫するを得たり爾來二十有六年の久しき尙之を實究するに身體益〻壯健且つ逆境界に逢ふも怖畏の念おく恒に大安樂の地に住す觀音經ゐ曰く「於怖畏急難之中能施無畏」と誠に然るを覺ふ而して耳根より腦髓に定力を用ゆるときハ頭耳に動搖を顯すを以て外形に於ても幾分の信すべきあらん何故に耳根よりして定力を用ゆるときハ心性の本體を明瞭するを得るや次章に於て之を述ん

第二章　觀音入流の理由

腦髓ハ神系中樞の存する處にゐて胸腹ハ其支配を受くる神系の支末なり而して心王の居城ハ腦髓にゐて古來の智識或ハ胸腹を空淨する者あるも未た曾て說の腦髓に及ふ者おし然るに予ハ師の講義に感し實驗眞證上よりゐて心王の居所ハ腦中にあるを認む且つ醫科解剖の學派に於ても神系の中樞ハ腦髓にありて精神の依所も其中にありと唱ふ這ハ當に然るへき理ゐして現に涅槃經も「頭爲殿堂心王居中」とあり然り而して觀音流を反入すとハ右耳根に定力を用ひ前腦より後腦に陀那の流注を反入するを云ふ楞嚴經に曰く「阿難

白佛言世尊云何逆流深入一門能令六根一時清淨」と又曰く「佛問圓通我從耳門圓照三昧緣心自在因入流相得三摩提成就菩提斯爲第一」と又曰く「由我所得圓通本根發妙耳門然後身心微妙含容周徧法界」とあり僅に此數句を以て見るも耳根に定力を用ゆるに頗る肝要の門戸にして前章に示したる「初於聞中入流」云々の如く最初此妙耳に定力を用ひ流相を反入する時に所謂身心一如の妙境に至る者なり抑流相といへ陀那識なる者にして之を執持識とも不可覺知堅住器識とも又不覺不知器世間識とも云ふ原を腰骨盤中に發し昇流して脊髓より腦に入り腦氣と和合し胸腹四肢に下り以て全身を滋養生育す然れ共停滯纏縛の質なるか爲め腦に在ては無明となり胸腹に在ては煩惱となる無明も煩惱も皆陀那の變質にして楞嚴に云ふ所の無始生死の根本と無始菩提涅槃元清淨の體とか和合し成る者にして恰

も豆汁の鹽液と和して豆腐となるか如き者なり而して此無明煩惱と稱する者に憎愛愁惱怖畏瞋嫉等の念を起し此種々の疾病を釀發する者あり然るに之を解脫せんと欲せば耳根より定力を用ゐ陀那の流注を反入せさる可らす此法に大乘の骨髓にして釋迦黃老か二十五菩薩の爲めに楞嚴會上に演說せる二十五圓通の眼目なり惜哉中古以來虛義の說盛んに實證の法衰へ觀音入流の義曖昧に屬しぬ近世に至り歐米の文化我國に渡來してより政體風俗を初め諸學科及發明的事業に於て實に進步の著しきを覩る然るに佛敎家とし云へい依然廣遠空漠の說を妄信し毫も確乎的實の法により解脫を求る者あきに抑如何なる理由そや若し此儘に放任し去ん歟眞正の佛法に全く衰滅を邪敎益々跋扈せん是予の誹謗を甘んじ護法の爲めに喋々する所以なり

第三章　定力を用ゆるの軌儀

今茲に心性を顯發する順路を說んに譬へゝ金碧莊嚴の王城に登んにゝ九重の門よりする如く我心王城に到んにゝ六根門頭あり六根とゝ眼耳鼻舌身意を云ふ者にして識之に住し六識とある他又六塵ありて六根六識を蔭蔽ゝ隨て細大無量の無明煩惱を起す之を打破ゝて進むときゝ必す心源に達す之を稱ゝて自覺性智と云ひ又眞如法性と云ひ尙又心王宮殿に到るとも云ふ若し其心王宮殿に到れゝ七珍萬法完く備ゝるを見て始て煩惱菩提昨夢の如くなるを知る云何六識を打破せん曰く六根門頭ゝ定力を用ゆるにあり楞嚴に迷晦即無明發明便解脫解結因次第六解一亦亡とあるゝ之を云ふ者にして就中予の如きゝ耳根に定力を用ひてより直ちに心性を顯發するを得たり故に初學の士ゝ必らす耳根よりするを要す既に耳根に定力の入るゝ覺へゝ胸腹にも定力を用ゆへし何とあれゝ說命耳根よりして全腦に定力の及ふにせよ神系上より觀察を下すときゝ腦部ゝ主宰に止り胸腹と非常に密接の感應を有する者あれゝあり故に腦部の空淨を得んと欲せゝ曾耳根に定力を用ゆるのみあらす胸腹にも工夫を怠らさるを要す然らもんゝ圓滿を期ゝ難し要するに腦隨ゝ原府なり苟も原府の空淨を專とし而ゝて胸腹及ひ四肢の如き支派に及はさゝ破竹の勢もて空淨するや瞭々たり惟ふに陀那の原泉ゝ混々として腰骨盤よりして上流ゝ腦氣と和合起信論に覺と不覺と和合し一に非ゝ異に非す之を阿賴耶識と名くとあるゝ之を云ふし以て胸腹四肢に下る者の如し故に耳根に定力を用ゆるときゝ腦隨にて陀那の和合を遮るを以て胸腹に流注すること至て少なく隨て胸腹に定力を用ゆるに當り解脫する極て容易迅速なる者とす

近世屢〻腦裡の力を用ゆへしと唱ふる者ありと雖も這い思慮分別の異名詞に過きすして予か主唱する耳根より腦髓に圓通する定力を用ゆるにいあらさるなり云何定力曰く一箇の精神的作用を以て體内に一種の力を用ゆるを云ふ凡そ通常の力と稱する者い手足により外部に向て發動する者を云ふも茲に云ふ定力と稱するものい全身の内部に向て發動する者を云ふ定力を用ゆる事たる始めい困難に似たれとも行住坐臥常に工夫を怠らすんい何れの時か自知するを得驀然打破せい天を驚き地を動かさん故に實際圓通に至る迄い多少の經過を要すへし予初め胸腹吐裡に向て工夫し後改て耳根に定力を用ひしに或い宿緣の然らしむる處おらん屢に一ヶ月餘にして父母未生前本來の面目を露現す是予の實驗眞證する處創聞の士疑惑を生ずる勿れ然れとも人各前生來宿業のあるあり其無明煩

惱の厚薄により遲速緩急を免れす此法や智愚利鈍を擇いさる者とす故に專一に工夫せい必す至る達磨曰く「不立文字教外別傳直指人心見性成佛」と身安かならされい心安かおらす心安かおらされい身安かならす論して此に至れい心身一如の妙境い世上幾百の學科もりと雖とも蓋き佛教解脱の法門を除ひて得難からん

第四章　結論

以上陳述する如く耳根に定力を用ひ前腦より後腦に陀那の流注を反入し尙胸腹に定力を用ひ諸部の惑病妄識を除滅するとたる予の廿六年來實驗眞證する處にき て而かも楞嚴涅槃觀音起信の諸經論等既に明文のあるあり此際他の經文を引證せん歟千百にして足らす故に予い敢て新說と云ふにあらを中古衰滅の法を發見したるに過きさるのみ於是乎獨り自ら足れりとせす普く社會公衆に向て此

の眞性の活用を自在にする妙法あるとを告げ以て修學の便に充んと欲す抑修行に信解行證の階序あり若し之を履踐ずして心身無碍の境界に至らゝ心身ゝ猶泡影の起滅する如く迷悟修證ゝ夢裏に水火を渡る如けん此法を稱して耳根圓通と云ひ此法を稱して首楞嚴と云ふ此法知らんと欲せゝ此定參究すべし

耳根圓通論終

明治廿八年五月廿日印刷
明治廿八年五月廿日發行

編纂者　堀越修一郎
印刷兼發行者　東京神田區美土代町三丁目四番地　駒崎林三
發行兼賣捌所　同所　東京神田區美土代町三丁目四番地　穎才新誌社

定價金六錢

關西專賣書林　大坂北久太郎町四丁目　柳原喜兵衛
同　同心齋橋通備後町　吉岡平助
關東專賣書林　東京日本橋區通一丁目　大倉孫兵衛
九州專賣書林　福岡縣博多市中島町　積善館支店

本社出版既成書目（受驗問題書類）

日支萬國歷史問題	一千題	全	三版改正
日支萬國地理問題	一千題	全	三版改正
必受驗用地文問題	一千題	全	新版
必受驗用教育問題	七百題	全	二版
必受驗用倫理問題	七百題	全	新版
必受驗用國文問題	一千題	全	二版
必受驗用動物理問題	五百題	全	新版
必受驗用生理問題	一千題	全	八版改正
必受驗用漢文問題	七百題	全	新版
必受驗用法學問題	一千題	全	六版改正
教授管理問題	一千題	全	新版

（各賣價金二十錢
郵稅金四錢ツヽ）

諸學校官公立學試驗及入級ニ必ス記ヲ本書ニ確實ノ前ノ幸福ヲ不ル一生ノ幸福ヲ免レ落第セシヲ

各府縣特約賣捌書林

大坂東區備後町四丁目　梅原龜七
同　久寶寺町四丁目　前川善兵衛
東京日本橋區新大坂町　小林喜右衛門
同　京橋區南傳馬町　目黑支店
同　日本橋區通二丁目　小林新兵衛
同　日本橋區小網町　信文堂
同　神田區錦町　武藏屋書店
同　神田區裏神保町　上田屋書店
同　同區同所　寶山堂
同　麹町區三番町　明々堂
同　京橋區尾張町　東海堂
同　京橋區新肴町　巖々堂
同　京橋區南傳馬町　吉川半七
同　日本橋區通油町　水野慶次郎
同　同區通二丁目　林平次郎
同　麹町區上六番町　日成堂
鹿兒嶋縣鹿兒島市　吉田源藏
宮城縣仙臺大町　木村文助
新潟縣三條　樋口小左衛門
同長岡表四之町　目黑十郎
長野縣飯田　奥村書店
愛知縣名古屋本町　川瀨代助
富山縣高岡市　學海堂
山梨縣谷村　齋藤由太郎
福岡縣博多　森岡書店
廣嶋縣廣島市鹽屋町　積善館支店

●受驗必用 化學問答百七十題 全 改正二版 定價郵税共金十四錢

右十二書ハ各簡詳宜シキヲ得用意ノ斬新ナル周到ナル其説明亦極テ適切明確一讀記臆ニ永存シテ各種中學校師範學校陸海軍各校其他諸官公立學校入學受驗小學教員撿定受驗文官登用受驗等總テノ受驗ニ必用ニシテ特ニ應問適切ノ問題ノミヲ掲載シ即問即答ニ便利ナル樣注意編輯シタル者ナレハ各受驗者ハ受驗前必ス之ヲ一讀シ記臆ヲ確メ一生幸不幸ノ分カルヽ大切ナル受驗ニ落第ノ憂ナキヲ要スヘシ

●撮要 新日本地理 全 中利通先生著 定價金廿錢 紙數三百頁餘 郵税金四錢

地理總論ハ極テ詳密ニシテ各道各國ノ位置廣袤面積人口地勢山脈海岸線風俗物産等其要ヲ擧ケ又各道ニ就キ一々之ニ對スル問題ヲ掲ケ教授用ト受驗用トニ供セシ考案斬新從來ノ地理編纂法ト大ニ其面目ヲ異ニシ實ニ地理書ノ趣味ヲ有セシ書ニシテ教科書ニハ勿論受驗參考用及講習用等ニ至極適當ノ好評アリ

新改革 地理編纂上一体地理書中別ニ新ヲナシ新体中ノ新ヲ得テ地

●増補三版 和歌作法指南 全 附 作例名歌 笹村良昌大人著 定價郵税共 紙數三百頁餘 金二十四錢

古人ニ劣ラサル名歌ヲ詠ム秘訣ヲ知シトスル人人何人モ必一讀スヘキ有名ノ書ニシテ三十餘章數千万言ノ新説ト數千首ノ歌人ノ必ス必得ヘキ古今各名人ノ作例名歌トヲ擧ケシ者ニシテ本書ハ天與煥爛眞成ノ名歌ヲ詠ミ得ルヲ教ヘシ者ナレハ作法ハ必ス得ヲ徒ラニ古人ノ僻説或ハ田舍ノ師ヲ以テ作歌ヲ學シトスル其危險ナルヲ知ラハ本書ヲ一讀セヨ本書ハ丁寧ニ其手ヲ携ヘテ作歌ノ堂奥ニ迄入ルヿヲ案内シタル書ナリ

●増補二版 發句作法指南 全（其角堂宗匠）田邊機一撰 定價郵税共 金二十四錢（俳人の秘書）

俳句作法の説明三十餘章數千万言アラユル丁寧に秘訣を漏し我文學の粹なる正風の俳句を再興し斯道の一新天地を創建すへき著者獨得の新説に評を附し解をあし更に古人四季の名吟數千句を網羅したれを知て天與爛煥眞成の名吟を詠み出んとする人も苟も俳句の作法を知り又眞味を知ん必ず一讀せよ目今俳諧書中特に有名の書あり

●川柳作法指南 全 附 作例名句 柳坡粹人 定價金廿錢 紙數三十 牛澤大人著 郵税金四錢 百頁餘

日本文學の一なる川柳ハ政治上より人事百般何事に付ても世を諷し俗を矯り人情世態を巧に穿つの妙詩歌俳の遠く及ハさる所にして且其人耳に入り易く面白き事も亦詩歌俳に勝る所あり而して古來斯學に關し作法を記する書一も是れなく斯道に志ある人の遺憾とする所なりしに有名なる柳坡先生卓見妙筆を以て斯道の起原沿革より世人の未た心付かさりし深奥の意味及ひ作法の心得五十餘條數千万言丹に奇々妙々面白き作例の川柳數千句へ一々解釋を付け斯道のあらゆる秘訣を示されたる且つ斯道百餘年來の弊を打破し眞正の針路を示したる眞に斯道始りより本書の如き指南書一もなし殊に本書中土佐國に古來行れある川柳と相似たる天爾波と云ふ國の人も一見自由に其眞を穿てる作を爲し得へし

●歌文作家要書 全 笹村良昌先生著 定價郵税共金廿四錢 紙數二百八十頁餘

右ハ初ニ作歌便法、作文便法（國文飜譯法ヲモ併記ス）ヲ詳論シ次ニ歌文ニ古今人不知不識誤用シ來リタル詞ト誤用シ易キ詞トヲ數百件先生ノ博識卓見ヲ以テ丁寧ニ解釋シ又假名遣記臆便法ト歌文冠辞辨トヲ數百件列擧シタル書ナレハ歌文作者ニ必用ノ書ナリ今後此書ヲ讀マサル人ノ歌文ハ知ラスシテ不當ノ詞ヲ用ヒ瑕疵百出眞成ノ歌文タルヲ得サルヲ知ルヘシ尤モ作歌者ハ和歌作法指南ト併セ讀メハ一層ノ益アリ

●增補六版 **漢學問答一千題** 全 附 **和學問答** 定價郵税共金二十四錢

右ハ學者泣セトノ大好評ヲ博セシ書ニテ一讀經書歷史子類佛書詩文集其他各和漢書籍ノ故事要語ヲ和漢學大家半生ノ學問ト均シキ學力ヲ旬日ニ得大家ノ未タ知ラサル所ヲ知リ其博識數萬卷ヲ涉獵セシト同價ヲ得ヘキ樣ナセシ書ナリ故ニ和漢學ノ故事出處ヲ明ニシ博學者ノ名ヲ得ントスル人特ニ和漢學ノ速成ヲ欲スル人ハ必ス一讀シ玉フヘシ國民之友ハ云フ本書ハ學者泣セニアラス便利ノ書ナレハ學者書ハセナリト

●訂正二版 **國文問答一千題** 全 笹村良昌著 紙數三百頁 定價郵税共金二十四錢

右ハ日記物語冊紙其外國文數十種ニ付我國ノアラユル古言雅語ヲ流暢ノ筆モテ引證正確議論斬新古人ノ誤謬ヲ正シ今人ノ未タ知ラサル所ヲ解釋シ和歌和文ヲ作ントスル人ノ便ニ供シ且ツ諸學校入學受驗用及講習用書ニ供セシ者也故ニ歌文ヲ讀ムニモ作ルニモ受驗用ニモ極テ必用ノ書ナレハ全國歌文作家及受驗者ヨリ大好評ヲ被レリ

●受驗應用教授應用 **倫理學問答七百題** 全 (二版) 紙數三百頁定價郵税共金廿四錢

右ハ勅語ニ基キ目下我國ニ適スル修身倫理ニ關スル事項ヲ聚輯シ各師範學校入學受驗小學教員學力檢定受驗及各在校生徒修身倫理受驗用ニ供スル爲メ編輯セシ者ナリ勿論今ハ何種ノ學校ニテモ修身倫理ノ科ヲ置カサル學校ナケレハ何校ノ修身倫理科受驗ニモ應用スヘキ樣注意編輯セリ故ニ本書ヲ一閲セハアラユル學校ノ修身倫理科受驗ニ必ス落第ノ憂ナシ且ツ全國各小學教師生徒ニ修身倫理科ヲ教授スルニ尤モ必用ノ書ナレハ本書ハ獨リ各受驗ニ必用ノミナラス授業用ニモ亦極テ必用ノ書ナリ

●受驗應用教授應用 **教育學問答七百題** 全 中利通先生譯述 定價郵税共金二十四錢

右ハ近時泰西教育大家根氏ハ勿論其外最新流行ノ教育學原書中ノ最粹ヲ譯述セシ者ニシテ各師範學校入學受驗者及小學教員學力檢定受驗者ハ勿論在師範學校生徒現任小學教員諸君ニハ本書一部ニテ他ノ數種ノ教育書ヲ合セ見ル價アル者ナリ故ニ受驗及第ト良教師タルヲ願フ人又特ニ小學教師諸君本書ヲ讀メハ最新ノ智識ヲ增殖シ生徒ノ多幸タルヘシ故ニ各府縣各小校ヨリ校費ニテ購求備本トナシ常用ノ榮ヲ被レリ

●受驗應用 **生理學問答七百題** 全 定價郵税共金二十四錢

各醫學校入學試驗、醫術開業試驗、各師範學校入學試驗、小學教師學力檢定試驗等ニ供スル爲メ現時泰西各諸大家ノ最新著ヲ譯述セシ者ニテ煩ヲ省キ要ヲ擧ケ記憶ニ便ナル樣ナシタレハ各受驗者必ス一讀シ落第ノ不名譽ヲ取ラス畢生ノ目的ヲ誤ル勿レ

●受驗應用 **物理學新解** 全 (試驗參考用書) 中利通先生著 定價金卅錢 郵税金六錢

右ハ近時歐洲理學諸大家ノ最新著數種ヨリ最粹ノ新說ヲ先生新機軸ヲ出シ簡明ニ譯述セシ者ニテ文章体ハ物理ノ最粹ヲ聚メ專ラ原理ヲ詳說シタル實ニ物理書中嶄然頭角ヲ顯シタル者ニテ且ツ所說數百章其一章ヲ講說シ終ル每ニ每章各數十ノ問題ヲ設ケ之ニ依テ全章ノ意義ヲ解釋セシムル樣極テ注意周到編纂セシ書ナリ其ノ編輯目的ハ重ニ中學校生徒師範學校生徒講習用書中小學教員授業及各校入學受驗參考用等ニシテ紙數三百六十頁密書七十五個ヲ挿入セリ

●增補二版 **算數學理論新解** 全 中利通先生著 定價郵税共金二十四錢

右ハ四則、數ノ性質、分數及小數、比及比例、開平法、開立法、子母法、級數、求積、雜問ノ十章ニ分チ各章數十題每題例証ヲ揭ケ簡明ニ解釋シ其編輯目的ハ各種學校受驗應用

及ヒ教授應用書ニシテ以上目次ノ如ク算術全体ノ理論悉ク新案ヲ以テ殊ニ了解シ易ク其ノ問題ノ數ハ一千有餘題アリ數理ヲ早ク解シテ運算ヲ巧ニシ本書特色ノ長所ハ本書ヲ讀メハ算數全体ノ原理トスル人ハ本書ヲ讀メハ算數全体ノ原理

受驗ニ教授ニ應用スル理論ヲ知シ能ク了解シ如何ナル難題モ早ク解得シ答式ヲ組立ルヲ得ヘシ

巻末ニハ別ニ算術解法ノ秘訣數條ヲ掲ク數學者ハ算術解法秘訣ト共ニ必讀ノ書ナリ

理論應用 算術解法秘訣 全（三版）

中利通先生著 定價二十錢 紙數三百廿頁 郵税金四錢

右ハ四則、數ノ性質、分數及小數、比及比例、開平方、開立方、子母法、級數、求積、雜問法十章ニ分チ各章各數十題ヲ載セ每題新式ノ理論ヲ以テ一々簡明ニ之ヲ解釋シ答式ヲモ掲ケテ數理ヲ解釋スルノ秘訣ヲ示シタリ本書理論ノ應用ニ於テ完全ナルハ勿論解ノ秘訣ニ至テハ特ニ新奇卓拔ナリ故ニ本書數百題ノ理論ト解法トヲ知ル時ハ之ヲ應用シテ如何ナル問題モ早ク之ヲ了解シ直チニ答式ヲ組立ルヲ得ルハ勿論ナリ故ニ一般數學者ハ勿論各校教授應用受驗應用ニハ極テ有用ノ書ニシテ小學校教師教授參考用ニ殊ニ必用ナリ二版ノ算數學理論新解ト同樣全國各小學校ヨリ教授參考用トシテ日々多數ノ注文アリ全國各中小學校ニテハ何卒校費ヲ以テ澤山陸續御注文アリタシ

教塲必携 小學教師用算術 全

中利通先生著 定價金廿錢 紙數三百頁餘 郵税金四錢

本書ハ小學及普通各學校教師諸君ニ便利ヲ與フル爲メ初メニ算術教授法數十條ヲ掲ケ次キニ四則分數單比例合率比例按分比例連鎖比例利息算開平開立級數等ノ新問題一千有餘題ヲ掲ケ其一題每ニ其題下ニ直チニ解式ト答トヲ附セシ書ニテ教塲ニテ解式ト答トヲ考ルノ面倒ナク時間ヲ省キ數理ノ説明ニ教塲ノ整理ニ注意行届キ順序能ク教授サルヽ樣ナセシ者ニテ特ニ一人ニテ數級ヲ受持ツ教師ニハ極テ便利ノ書ナリ

各校受驗者諸君注意（殊ニ士官候補生試驗ニ入用）

受驗必用 地文問答一千題

附日本地文學 全

中利通先生著 定價金廿錢 郵税金四錢

右ハ現今泰西諸學士ノ新説ヲ譯述セシ者ニテ日本地文學ヲ併記シ地文ニ關スル事項ハ何事ニ依ラス細大洩サス繁ヲ去リ要ヲ摘ミ一目瞭然總テ其起源及變化ハ果シテ如何樣ノ者カ等悉ク之ヲ詳明シタリ目下地文學適當ノ書類絶無ノ際各學校入學試驗小學教員檢定試驗等ニハ極テ有用ノ書ノミナラス地理ヲ學フ者ハ何人モ地文學ヲ知ラサレハ地理ヲ學ヒタリト云フ可ラス地理學ト地文學トハ決シテ離ル可ラサル者ナリ受驗者乞フ一本ヲ購テ落第ノ難ヲ免レ一生ノ方向ヲ確立シ且ツ世事萬般ニ利用セヨ

心理應用 魔術と催眠術 全 三版

近藤嘉三先生著 定價郵税共金十六錢

右ハ著者多年心理學上より實驗せし奇中の奇妙中の妙書にして何人も一讀新魔術と催眠術とを行ひ得へき方法を記し併て泰西諸學士の已に實驗せし實例を摘載す且つ本術に關する心性の玄機を論するにハ一々喩例を掲け實に天秘を洩せし不審議にて興味ある書にして藥石を用ゐす哀樂躍起疾走等種々の言語舉動を時と處とを撰ハす自由に睡眠させ且つ魔なさしめ得る事を記せし書なり

（歐米各國目下盛ニ行ハル者ナリ）

人及諸動物 何人も

術を以て人及諸動物に術者の意の儘に喜怒一度出て心理學の進歩ハ勿論醫術の發達宗教の改良刮目俟つへく一讀快を呼ふへし妙を躍々目前に試驗する事を得へし本書

本歌と都々一 即席作法 全二版

野雞花園大人著 定價郵税 紙數百六十頁 共金十錢

本書ハ野雞花園大人の新に工夫發明されたる法にて未だ作歌の法を知らざる人も雖とも和歌なり都々一なり已れか思ふ儘を筆を取ると同時に五十首百首即席瞬間に作り得らるゝ事を傳授せし書にして之を携ふれハ人を驚かす名句口を衝て出て吾も人も自ら其の奇に驚かん

●古今各体 作詩軌範 全（新詩人ノ良師）

乘附春海先生著　定價金廿錢
紙數二百八十頁　郵税金四錢

目次ハ論叢、六義、絶詩作法、律詩作法、排律作法、古詩作法、樂府（歌、行、曲、吟、篇、引等其他數種）正題（送別、征行、和韻、次韻、其他數種）雜詩体（香奩体、竹枝詞、聯句詩、進選韻等其他數種）詩會法式ハ本朝詩史略、清朝詩粹、七絶、七律、五律、七古、五古、等ニシテ且作詩ニ關スル者ハ細大洩サス一一古人ノ例ヲ擧ケ證ヲ掲ケ記載セリ江湖ノ詩家希クハ詩ノ作法ヲ知リ詩ノ沿革ヲ知リ詩ノ眞髓ヲ知リ眞詩人タレ詩壇ノ良將タレ

一般學生諸君必讀ノ奇書

●修學指鍼 全

米國大博士ジョンソン氏著　千葉廉譯　紙數二百頁餘　定價金十四錢　郵税金四錢

全國數百万ノ學生中成學立身ハ穿キハ何ソヤ是學問ノ力法ヲ知ラサルニ依ル本書ハ學生ノ修學上ニ處世上ニ立身上ニ良友トナリ杖筇トナリ何人モ「嗚呼數年前本書我手ニ入リシナラハ」ノ嘆ヲ發セサルナキ學生必讀ノ書ナリ蓋シ學生時代程人間ニ大切ナルハナク此時代ハ實ニ終身幸福ノ基礎ヲ定ル時代ニテ本書ハ此立礎ノ材料ナリ

●言語作法 貴女の心得 全

近藤嘉三先生　表紙石版美本菊版大　賣價金十四錢
著諸大家序文　形圖畫六十餘個挿入　郵便税金四錢

本書ハ夫人令孃即ち中等社會以上の婦女の今日必ず心得へき要用の事柄を輯錄せし者にて其略目次ハ淑女の心得、夫人の心得、化粧の要訣、談話の心得、訪問の心得、實客待遇の心得、室内粧飾法、和歌の書方、香道の心得、茶道の心得、新式和洋挿花法、家庭衛生法等其他數科にして一々圖畫を以て之を平易に説明したる者にて此數科の内一科を心得るも亦實に有益の書なり眞の夫人たり眞の淑女たり所謂貴女の位置眞價を進んとする婦女諸君にして本書を一讀せられない本書ハ實に夫人の教師として淑女の朋友として而も眞成に多識多藝なる良師良友を得たるに同樣の價値ある書なり

●兵士必讀 兵士之學校 全

中利通定價金二十錢（兵士ノ完全ナル學校）
先生著　郵便税金四錢（兵士ノ深切ナル教師）

兵士ニハ兵士ノ學問アリ此學問ヲ能クセサレハ良兵士トシテ兵士ノ間ニ立ツ能ハス兵士ノ試驗ニ及第スル能ハス兵士ノ職務ヲ守ル能ハス而シテ之ヲ丁寧ニ心切ニ兵營ノ教授ノ外ニ早ク教ユル者ハ本書ナリ即チ其略目次ハ勅語、訓諭、勅諭義解、讀法問答、兵士龜鑑、内外國英傑小傳、内外戰爭小紀、軍人用書翰文、軍人用算術等ニテ各實ニ兵士諸君ノ學校ニ入リ以上ノ各學科ヲ專門ニ學フト同價値ヲ得ヘキ書ニシテ各科共新入兵士諸君ニハ特更要用ノ書ナリ五部以上取纏メ御注文アレハ非常ノ割引ス

●教授管理 法問答一千題 全

中利通先生著　定價金廿四錢
紙數三百頁餘　郵便税金六錢

小學教師ニ平常尤モ必用ナルハ教授術ト管理法ナリ故ニ師範學校入學受驗ニ小學校員學力驗定ニ此二科ヲ亦尤モ嚴密ニ試驗シ而シテ本書ノ略目次ハ即チ小學教授法汎論、各科教授論、讀方科、習字科、算術科、修身科、歴史科、地理科、圖畫科、唱歌科、体操科、理科（理化、生理、植物、動物、金石）幾何學科ニシテ且ツ毎科ニ教則大綱ヲ載セ及小學管理法等ニシテ小學教師授業參考用ハ勿論師範學校入學教員學術檢定試驗等ニ供シ又爲メ注意編輯セシ書ナリ小學教師諸君及小學教師タラントスル人一本ヲ購求シテ其大任ノ目的ヲ達セヨ

●正風蕉門 俳諧秘書 全

正價金十六錢
郵税金四錢

俳家ノ六韜三略

俳秘い未た宗匠と稱する人も知らさる者多き眞の秘書にて蕉翁及其門下俳哲の手に本書其目次い即ち俳諧之秘記●幻住庵俳諧有也無也關●本式幷古式●正風芭蕉流奥成り蒐集●袖珍抄等の合卷にして發句俳諧に關する蕉門一切數百ケ條の秘訣い悉く本書あり本書の外豈所謂俳道の秘訣なる者あらんや特に本書の多くい寫本にて價

に傳りたと其の已に梓に上りし者も大概二百年前の書あれい其の已に絶版烏有に屬たるとにより今世間絶て無くたて稀にある者のみにして本書中各書の節々或い稀に或一部を傳授とたて各宗匠の家に傳いり居る者われとも本書の全部を有する人なき編者今此の完璧なる本書を讀者に紹介し蕉門の所謂秘訣秘傳を窺へしめんとす

第一高等中學教授落合直文先生校閲幷序　東京國學會々長白鳥菊治先生著

●雅文俗文 **作文語格** 全　菊版美本紙數百五十頁餘　正價金十二錢郵税金四錢

方今日本文典ニ種々アレ共如何セン大概繁ニ過キ雜ニ失シ未タ簡明其体ヲ得一讀了解スル者寡シ故ニ雅文ト俗文トヲ問ハス其語格文法ヲ詮索シ教授用ニ受驗用ニ且ツ練習用ニ活用シ得ヘキ者ナシ本書ハ文ノ雅俗ヲ問ハス語格ヲ吟味シ文法ヲ研究スル者實地授業上幾多ノ經驗ヲ以テ務テ簡ニシテ要實用ニ適セシムル樣編輯シタル者ナレハ苟モ雅俗ヲ問ハス日本文ヲ綴リ日本文ヲ讀ミ其語格文法ヲ誤ラス且ツ假名遣ヲ謬ラサラントスル人ハ勿論各教授者ト受驗者トハ必ス參考セラレンコヲ紹介ス

佐藤正平君編纂定價金十二錢郵税金二錢

●現行實用 **文官登用試驗規則** 全

本書ハ明治二十年七月ヨリ今二十八年二月ニ至ル迄ノ文官登用及ヒ試驗ニ關スル現今諸法令ヲ悉皆蒐集シ傍ラ辨護士公證人執達吏等ノ試驗規則願書履歴書式及諸問題ヲ添記シ一々當務者ニ示シ之カ批正ヲ得類集極テ愼重法文脫漏ノ憂ナキヲ務メ之ヲ年月ニ隨テ順序シ尙條文ノ改正ハ本文ニ何年第何号參照ト附記シテ彼此相對照セシメ又規則中法文ヲ省略シテ受驗者ニ至便至益ヲ與ヘタル如キ實ニ簡詳宜シキヲ得注意周到緻密ナル各受驗者諸君一本ヲ購讀シテ青雲ニ上ル階梯トナセ

●正風蕉門 **蕉翁俳談秘錄** 全　俳諧說林第一編　正價金二十錢

本書ハ芭蕉翁數十年間丁寧深切に俳諧發句作法の秘奥を門人其他に教授されし者と又門人等の之に意見を加へし者と眞に斯道に有益なる事柄のみ數百條數万言を類を分け順を追て纂輯せし書おれい苟も蕉門正風の流れを汲み眞成の俳諧發句を作んとする人い必す一讀せらるへし

虛幻堂主人纂輯　郵便税金四錢

●心理應用 **幻術乃理法** 全　附神と幽靈　近藤嘉三　定價金十六錢

幻術即ち魔術の一種の原理と仕方とを詳解し何人にも心靈の妙機を應用し造化の秘蘊と奪取して種々の幻術を自由に學理に因て實地に行ひ得へきを案内し且つ我國の神の事を說きたるい千古の卓論又幽靈の現象と死靈生靈夢及斷食等の事を說破した千古未發の高論造化の秘を漏したる奇書なり

先生著　郵便税金四錢

●印度哲學 **膽力養成法** 全　附擊劍と禪理　市川文雄先生著　定價金十二錢

非常の事に逢ひ憶せす動せす難の事に臨み疑懼せす憂惱せす鄙怯の念を排除して思慮靜沈大い天下の宏業を料理し小い一身一家の大事を修齊し總て勞心焦慮の事業に當る者をして坦心平氣大功を奏呈せしむる大膽力を養成すへき方法を哲學上より之を論し何人も行ひ得へきい本書の眞價あり特有なり又附錄の擊劍と禪理い擊劍家の秘訣にして亦練膽の一良法筆躍り墨舞ふの趣あり

郵便税金四錢

●**頌才新誌** 〔毎土曜發〕〔毎号附錄〕〔一部金二錢、十部前金十八錢廿部三十六錢、府外郵税五厘ッヽ〕

●普通作文研究ニ付　●數理學研究ニ付　●漢文學研究ニ付　●國語學研究ニ付　●國文學研究ニ付　●詩學研究ニ付　●論說體研究ニ付　●和歌研究ニ付　●科學研究ニ付　●俳句研究ニ付

必要

論說文章數學詩和歌及發句 **募集** 共十二頁　毎號本社和歌添刪主任　附錄笹村良昌先生　各編本誌輯員發句同其角堂　宗匠國文同白鳥菊治先生　外

投書

本誌ハ以上ノ學科ヲ研究スルニ、尤モ適當ニテ、數千ノ投書家ト、數万ノ看客トヲ有

シ、文章ノ斬新奇警ナル、詩歌俳ノ清新優美ナル、其他理化學ノ新奇絶妙ナルノ以上ノ外作詩法、作歌法、發句作法等ノ記事ヲ掲載シ、特ニ附錄ニハ懸賞ノ文章、漢詩、和歌、發句等ヲ載ス實ニ本誌ハ文學ノ百花ヲ集收セシ花園ナリ、投書隨意規則ナシ、見本進呈

明治十七年後年度ヨリ今年度迄各半年度各郵税共金四十五錢ツヽ

穎才新誌合本

本誌合本ハ天下穎才諸君ノ傑作佳什ヲ集錄合綴シタル者ナレハ青年諸君作文ノ模範トシテ極テ益アリ世人ハ之ヲ青年諸君ノ文章軌範ト評セリ（十二年全年度分出來ス）

今後毎月出版書類

（外試驗問答書類文學書類數百種以後毎月陸續出版）

- 朝鮮新事情　近刊
- 化學問答一千題
- 數學三千題
- 金石問答一千題
- 醫生便覽
- 解法詳說數學問題集
- 心理應用忘却術
- 漢文作法指南
- 新撰應用算術三千題
- 名家國文粹編
- 物理算法詳解
- 小學教師用作文
- 博物學新解
- 小學教案編製法
- 化學新解
- 成城學校幼年學校入學問題全集
- 俳諧新評
- 教育心理問答一千題
- 代數獨學要書
- （撮要）新萬國歷史
- （撮要）新萬國地理
- （撮要）新日本歷史
- （撮要）新支那歷史
- （撮要）新支那地理

前條ノ新誌及書籍ハ弊社特約賣捌ノ外全國何レノ書林及雜誌店（御注文被下候ヲモ相辨シ申候）穎才新誌社出版ノ何々書ト御指名御注文ヲ乞フ

書籍及新誌代價小爲替ハ東京神田區淡路町爲替取扱所ニテ金子ハ受取ル可キ樣其爲替ハ弊社ヘ御遣シ可被下又各書籍ハ總テ何方ヘモ前金ナラサレハ遞送セス

文學書類及受驗書類出版所

穎才新誌社

坐禅法正解

国立国会図書館

特69
60

202060-000-9

特69-60

坐禅法正解

堀越　修一郎／編

M28. 5

EDB-0066